

第6回「台北防衛対話（TDT）」 台湾国防安全研究院との交流

<趣旨>

台北防衛対話（Taipei Defense Talk：TDT）は、日本と台湾の安全保障・防衛協力の強化を目的に、日本安全保障戦略研究所（SSRI）と台湾国防安全研究院（INDSR、日本の防衛研究所に相当）国家安全研究所との間で定期的に意見交換を行う場として設けられた。

<会議の概要>

両研究所は、第6回 TDT を 2024 年 08 月 21 日（水）14:00～16:30 に開催した。その概要は以下の通りである。

「中国共産党「第20期中央委員会第3回全体会議（3中全会）」後の台湾政策」とし、双方の側からの発表と、それに続いて活発な意見交換を行った。



「第 6 回台北防衛対話」

テーマ：中国共産党「第 20 期中央委員会第 3 回全体会議（3 中全会）」後の台湾政策	
14:00→14:10 (10 分)	開会挨拶 INDSR 副執行長（5 分） SSRI 理事長（5 分）
14:10→15:00 (50 分)	セッション 1 トピック：中国共産党第 3 回全体会議（3 中全会）後の中国の台湾政策
	発表時間（15 分）： 沈 明室（国家安全保障研究所所長、国防安全研究院） ディスカッション（20 分）。
15:00→15:50 (50 分)	セッション 2 件名：中国共産党第 3 回全体会議（3 中全会）と習近平政権の求心力
	発表時間（15 分）： 邱伯浩（日本安全保障戦略研究所研究員） ディスカッション（20 分）。
15:50→15:56 (6 分)	閉会挨拶 INDSR 副執行長（3 分） SSRI 理事長（3 分）
15:56→16:00 (4 分)	交換覚書（MOU）の締結、プレゼント交換、集合写真撮影
トータル 2 時間	

参加者	SSRI 高井 晋（SSRI 理事長） 柴田 幹雄（上席研究員） 小野田 治（上席研究員） 邱伯浩（研究員） 門脇清美（事務局長）	INDSR 国防安全研究院代理副執行長暨國 安所所長 沈明室 国防安全研究院 副研究員 王彥麟 国防安全研究院 副研究員 張務華
-----	--	--

〈会議のハイライト〉

中国共産党の最も重要な会議の 1 つである中国共産党（CPC）の第 20 期中央委員会第 3 回全体会議（三中全会）が北京で 7 月 15 日から 4 日間で行われ、「改革を全面的に深化させ、中国式現代化を推進する」というスローガンを採択し 18 日に閉幕したばかりである。慣習に基づき主要な計画と実施

方法を発表してきた会議でもあるが、昨年秋に開催されるはずだったこの会議が今年7月に延期され、なぜ1年遅れるようなことになったのでしょうか。

主な理由として、中国共産党内の最高指導レベルでの意見の相違、国際関係の変化が挙げられる。特に米中経済戦争が継続している中に前米大統領トランプ氏が今年のアメリカ選挙後に政権に復帰し、対中制裁を強化する可能性があることから、中国が経済の泥沼から抜け出すことを不可能と思われる。

最後に中国自身の問題として、中国経済を直接引きずり下ろした不動産バブル、製造業の後退とインフレは中国経済が直面している大きな課題である。そのため、第3回総会は7月下旬まで延期させられた。注目の第3回全体会議（三中全会）の開催で、その中身は期待されたような具体的な経済刺激政策は皆無だったことが判明した。

〈今後の活動の方向〉

前掲 MOU には、下記の学術協力と交流を行うことを定めており、それに基づき、双方で活動を活発化させることを確認した。

《学術協力と交流における主な活動》

- ① 双方の学術スタッフは交流、スピーチ、セミナーへの参加、共同研究のために相互訪問すること
- ② 双方による年に1回の会議を開催する。会議名称は台北防衛対話（Taipei Defense Talk : TDT）とすること
- ③ 双方は随時ビデオ会議を開催し、その結果は双方の学術雑誌やウェブサイトに掲載することを可能とすること

